

研究会開催通知

(昭和58年5月15日～6月30日)

研究会	日	時	会場	備考
設計自動化	5月17日(火)	13:30～17:70	商業界会館	前号参照
データベース・システム	5月19日(木)	13:30～17:00	同上	同上
コンピュータビジョン	5月19日(木)	13:20～17:00	豊橋技科大	同上
ソフトウェア工学	5月25日(水)	13:30～17:00	商業界会館	同上
分散処理システム	5月26日(木)	13:30～17:00	機械振興会館	同上
知識工学と人工知能	6月2日(木)	10:00～17:00	同上	下記参照
計算機アーキテクチャ	6月3日(金)	13:30～17:00	同上	同上
計算機システムの制御と評価	6月10日(金)	10:00～17:00	商業界会館	同上
記号処理	6月16日(木)	13:00～17:00	東北大	同上
	6月17日(金)	9:00～14:00	同上	同上
ソフトウェア基礎論	6月24日(金)	13:30～17:00	東大	同上
ソフトウェア工学	6月29日(水)	13:30～17:00	機械振興会館	同上

◆ 第30回 知識工学と人工知能研究会

(発表件数: 7件)

(主査: 志村正道, 幹事: 石塚 満)

日時 昭和58年6月2日(木) 午前10時～午後5時

会場 機械振興会館 地下3階2号室

[東京都港区芝公園 3-5-8, 地下鉄: 日比谷線神谷町, 浅草線大門, 三田線御成門下車, 国電: 浜松町下車, バス: 渋谷-東京タワー線東京タワー, 等々力-東京駅八重洲線虎ノ門5丁目下車, Tel.03 (434) 8211]

議題 (1) Prolog による対象知識とメタ知識の融合とその応用

国藤 進, 麻生盛敏, 竹内彰一, 宮地泰造, 北上 始, 横田治夫
安川秀樹, 古川康一 (ICOT)

[概要] 論理型言語 Prolog を用いる対象知識とメタ知識の融合を行う demo 述語を利用するメタ推論方式を提案し, その各種応用例について説明する。

(2) 知識同化機構の一実現法

北上 始, 麻生盛敏, 国藤 進, 宮地泰造, 古川康一 (ICOT)

[概要] 知識ベース・システム向きの知識同化機構を, ルールの場合について検討したので, それについて報告する。

(3) 概念ネットワークによる知識表現システム (COMET)

渡辺正信 (日電)

[概要] 概念ネットワーク (C-NET) に基づく知識表現システム (COMET) の

構成, 主要機能について報告する.

- (4) フレーム型知識表現言語 FMS の構造について

伊藤秀昭, 上野晴樹 (電機大・理工)

〔概要〕 フレーム理論に基づく汎用知識表現言語 FMS を開発したので, その具体的な実現方法について報告する.

- (5) 視覚情報に対する自然語文のつきあわせ処理について

高木 朗, 伊東幸宏, 清水正朗, 北岡和憲, 小原啓義 (早大・理工)

〔概要〕 自然語文全体が主張する現象が実際に画面中で起きているかを確認するシステムの研究報告.

- (6) Temporal Logic に基づくシステム記述と推論について

房岡 璋, 世木博久, 高橋和子 (三菱電機・中研)

〔概要〕 プラント・コントローラのような dynamical system を取り扱う方法論として, Temporal Logic に基づくシステムの記述と推論方法について述べる.

- (7) 推論部に PROLOG を用いた知識処理系

高田正之, 佐粧秀彦, 大波雄一, 小谷善行 (農工大・工)

〔概要〕 日本語で対話を行い, 画面上の積木の世界を操作する知識処理系を, 推論部に PROLOG を用いて作成した.

◆ 第 41 回 計算機アーキテクチャ研究会

(発表件数: 4 件)

(主査: 飯塚 肇, 幹事: 坂村 健, 大島一純)

日 時 昭和 58 年 6 月 3 日 (金) 午後 1 時半~5 時

会 場 機械振興会館 地下 3 階 2 号室 (所在地は前記参照)

議 題 特集: 異種複合データ取り扱い可能計算機アーキテクチャ

- (1) 異種複合データ取り扱い可能計算機高機能ワークステーションのアーキテクチャ
坂村 健 (東大・理)

〔概要〕 従来の計算機と異なり, 例えば文字, 数値, 画像, 音声データなど性質の異なるデータを統一的に取り扱うことのできる計算機のアーキテクチャについて概説する.

- (2) マルチメディア・マシン M^3 のアーキテクチャ

坂村 健, 清水 徹, 前川 守 (東大・理)

〔概要〕 異種複合データ取り扱い可能計算機の一つである M^3 のアーキテクチャについて特にマンマシン・インタフェースを中心に述べる.

- (3) カラー図形ワークステーションの開発

斎藤光男, 相川 健, 森 秋夫 (東芝)

〔概要〕 文章, 図形, 画像を含む文書イメージを高速に表示するマルチビューウィンドウ機能を備えたカラーワークステーションを開発した.

- (4) 高機能ワークステーションに関するミニパネルディスカッション

◆ 第 19 回 計算機システムの制御と評価研究会

(発表件数: 8 件)

(主査: 益田隆司, 幹事: 小野欽司, 原田紀夫)

日 時 昭和 58 年 6 月 10 日 (金) 午前 10 時~午後 5 時

会 場 商業界会館 2階大会議室

[東京都港区麻布台 2-4-9, 地下鉄: 日比谷線神谷町, バス: 渋谷-東京タワー
線東京タワー, 等々力-東京駅八重洲線虎ノ門5丁目下車, 飯倉交差点角,
Tel. 03 (584) 7311]

議 題 特集: 分散 OS とその評価

午前 10 時~12 時 15 分

(1) 分散処理システムにおける資源間結合方式, 通信方式の性能評価

飯作俊一, 小野欽司 (KDD 研究所)

[概要] 分散処理システムにおける資源間の結合形態, ハードウェア競合, 通信
オーバーヘッド等について, 待ち行列理論に基づく各種方式の比較検討を行
う。

(2) 分散形デジタル交換機の呼処理方式と性能評価手法

布谷嘉章, 戸田 彰 (武蔵野通研)

[概要] 機能分散・負荷分散を行ったデジタル交換機マルチプロセッサ制御方
式の呼処理実行管理方法, プロセッサ間通信方法およびその性能評価手法
について述べる。

(3) 分散形デジタル交換機のトラヒック特性

井出一郎, 松永 亨, 住田修一 (武蔵野通研)

[概要] 汎用大形計算機によるフルスケール形トラックシミュレータ, 環境シミ
ュレータ METS および近似理論によるデジタル交換機のトラヒック特
性評価結果について述べる。

午後 1 時半~5 時

(4) タンデムノンストップシステムのアーキテクチャとソフトウェア

渡辺栄一 (日本タンデムコンピュータズ)

[概要] オンライントランザクション処理用の汎用マルチコンピュータシステム
のアーキテクチャとソフトウェアの全容を紹介する。

(5) An Operating System for Fault Tolerant Transaction Processing

Wayne Radochonski (Tandem Computers)

[概要] Tandem's distributed operating system, named 'Guardian' assures sys-
tem availability and data base integrity in spite of hardware and soft-
ware failures. This presentation discusses the key hardware components
and software primitives that facilitate fault tolerant online transaction
processing.

(6) A Network Implementation of Distributed Computing

Jack Driscoll (Tandem Computers)

[概要] The presentation will describe Tandem's implementation of 'Geograph-
ic Independence' of data base utilizing a 'Transparent' network. The
major issues addressed will be: The distribution of data and processing,
Availability of data, and Distributed data base consistency.

(7) 分散形を含む計算機システムの信頼性評価手法 ISCP/S-R

北嶋弘行 (日立・シ研)

〔概要〕 計算機システムの構成設計支援技法 ISCP/S の一部として、各処理要求からみた信頼度指標および、部分障害時の性能劣化を予測する手法を提案し、この適用例も述べる。

(8) 自律分散制御システムの開発

森 欣司, 宮本捷二, 井原廣一 (日立・シ研)

〔概要〕 システムを分散化する際、生物をアナログとして各サブシステムを自律化させるという自律分散概念を提案し、計算機制御システムへの適用について述べる。

◆ 第 26 回 記号処理研究会

(発表件数: 8 件)

(主査: 間野浩太郎, 幹事: 稲田信幸, 後藤滋樹)

日 時 昭和 58 年 6 月 16 日 (木) 午後 1 時～5 時

6 月 17 日 (金) 午前 9 時～午後 2 時

会 場 東北大学工学部附属図書館 工学分館視聴覚室

〔仙台市荒巻字青葉, 国鉄: 仙台駅下車, バス: 工学部行 (駅前青葉通り 日立ショールーム前より乗車) 約 15 分, Tel. 0222 (22) 1800 ex.4270, 4271 (伊藤研究室)〕

議 題 6 月 16 日 (木)

(1) 数式処理専用計算機 FLATS のデバッグ・システムについて

稲田信幸(理研), 鈴木正幸(東大・理), 平木 敬(電総研)

清水謙多郎(東大・理), 佐藤三久(東大・理)

〔概要〕 FLATS マシンのデバッグ作業を効率良く行うために開発してきたデバッグ・システムについて論じる。

(2) FLATS 記号処理命令 (高速並列ハッシュ命令及び多倍長命令)

鈴木正幸(東大・理), 平木 敬(電総研), 清水謙多郎(東大・理)

佐藤三久(東大・理), 稲田信幸(理研)

〔概要〕 高速記号処理をサポートするために、FLATS のハードウェアで実現した Hash/Bignum 命令の動作とそのデータ構造について発表する。

(3) LISP マシン ELiS のアーキテクチャ

——メモリレジスタの汎用化とその効果——

日比野靖, 渡辺和文, 大里延康 (武蔵野通研)

〔概要〕 ELiS のアーキテクチャ上の特徴の 1 つであるメモリ汎用レジスタを紹介し、TAO インタプリタの中での用法と効果を述べる。

(4) A Step Toward Complementary Programming

伊藤貴康 (東北大・工)

〔概要〕 Complementary Programming という意味指向型のプログラミング・スタイルの考え方とその実現の可能性および課題などについて論じる。

6 月 17 日 (金)

(5) 線形不定方程式の解法 古川昭夫(都立大・数学), 佐々木建昭(理研)

〔概要〕 多項式係数の連立線形方程式の多項式解を求める問題に対して、multi-PRS (多重多項式剰余列) を利用した解法を述べる。

(6) 上ツキ, 下ツキ, ギリシャ文字の操作が一タッチで出来る科学技術用英文
清書システムの製作 桂 重俊, 増子 進 (東北大・工)

〔概要〕 (1)上ツキ行, 中央行, 下ツキ行の3行を一組とし, カーソルの移動で
上ツキ文字および下ツキ文字の入力が出る。(2)カナキーによりギリシ
ャ文字, 特殊記号モードとなり, コードナンバを必要としない。

上記(1), (2)の特徴および通常のワードプロセッサの機能を持つ英
文清書システムを作成したので報告する。

(7) Shape Up の文字列照合アルゴリズムについて

小長谷明彦, 梅村 護 (日電・C & C システム研)

〔概要〕 未定義変数及び任意文字列コードを含むパターン対パターンの照合アル
ゴリズムについて報告する。

(8) パターン照合に基づく関数型記号処理言語の試み

伊藤貴康, 与齊 晃 (東北大・工)

〔概要〕 自動バックトラッキングに基づくパターン照合機能を備えた POPLAR
流の関数型記号処理言語 TOPS-1 を設計試作したのでその概要について
報告する。TOPS-1はパターンの特徴抽出に基づくパターン照合高速化支
援機能を具備しているのが特長である。

* 上記議題の他に伊藤研究室の見学も行います。また6月16日(木)夜に仙台市内で懇
親会を開く予定です。

◆ 第5回 ソフトウェア基礎論研究会

(発表件数: 4件)

(主査: 淵 一博, 幹事: 雨宮真人, 二村良彦)

日 時 昭和58年6月24日(金)午後1時半~5時

会 場 東京大学理学部 1号館150番教室

〔東京都文京区本郷7-3-1, 地下鉄:丸の内線本郷三丁目下車, 東大・弥生門
Tel.03(812)2111〕

議 題 (1) 関数型言語処理系のプロセスツリーによる実現

沼尾正行, 志村正道 (東工大・工)

〔概要〕 ラムダ式をプロセスツリーで表現し, それをプロセスの分裂と消滅をく
り返して評価する方法を提案する。

(2) 作用的言語 VULCAN の処理モデルについて

山野紘一, 木谷有一 (日立・シ研)

〔概要〕 作用的言語 VULCAN における結合子を用いた処理モデルおよびそこ
での最適化デバッグ機構などについて述べる。

(3) 関数型言語 Valid における資源管理記述法

小野 諭, 高橋直久, 長谷川隆三, 雨宮真人 (武蔵野通研)

〔概要〕 関数型言語 Valid のモジュール機構を用いた資源管理の記述法および
データフロ演算モデルとの関連について述べる。

(4) プログラム言語 PLAK/R における関係操作とその意味記述

島崎真昭(京大・大型計算機センタ), 林 誠 (立石電機)

津田孝夫 (京大・工)

〔概要〕 プログラム言語 PLAK/R における関係操作機能に関し、その言語仕様と公理論的手法による意味記述について述べる。

◆ 第 30 回 ソフトウェア工学研究会

(発表件数：4 件)

(主査：木村 泉，幹事：久保未沙，花田収悦)

日 時 昭和 58 年 6 月 29 日 (水) 午後 1 時半～5 時
会 場 機械振興会館 地下 3 階 2 号室 (所在地は前記参照)
議 題 (1) プログラム仕様のあいまい表明法

大場 充，尾玉憲俊，谷津行穂 (日本 IBM)

〔概要〕 プログラムの仕様を見通しよく記述する方法として、プログラム表明に副詞によるあいまいな表現法を導入することの提案。

(2) 日本語をベースにした仕様記述言語 NBSG

椎野 努，武内 惇，杉尾俊之 (沖電気)

〔概要〕 日本語の文型，文法をベースにした仕様記述言語と，その処理系の記述ガイダンスと検証機能についての提案。

(3) 事務処理業務ソフトウェアの部品分割方式 西村高志 (IPA)

〔概要〕 初期開発・再開発におけるソフトウェア再利用を目的とした，ソフトウェア部品を中核とする，事務処理業務ソフトウェアの分解・合成方式。

(4) TSS による基礎プログラミング教育に有用な問い合わせ方式 REPORT コマンド 羽賀隆洋，太田義勝 (名大・情報処理教育センター)

〔概要〕 基礎プログラミング教育における TSS 使用法の教授に便利な問い合わせ方式の REPORT コマンドの概要と利用法についての報告。

◆ 数値解析研究会

第 5 回 研究会を下記のごとく開催いたします。(詳細は次号)

日 時 58 年 7 月 1 日 (金) 午後 1 時半～5 時
会 場 機械振興会館 地下 3 階 2 号室 (所在地は前記参照)
議 題 (1) 粒径分布推定の計算法とその誤差解析

金谷健一 (群馬大・工)

(2) 数値シミュレーション用プログラム言語 DEQSOL

梅谷征雄 (日立)

(3) 数値予報における最近の諸問題

住 明正 (気象庁)

(4) 非線型モデルにおける異常振動の例

熊野長次郎 (三菱総研)

◆ グラフィクスと CAD 研究会

本年度研究会は，58 年 7 月 6 日 (水) 日本 IBM・東京サイエンティフィックセンタ，10 月 17 日 (月) 名古屋大学，59 年 3 月 16 日 (金) 東京の 3 回を予定しております。なお，別掲要項にしたがい，12 月 1 日 (木)，2 日 (金) に「グラフィクスと CAD」シンポジウムを開催いたします。

◆ マイクロコンピュータ研究会

第 27 回 研究会を下記のとおりで開催いたします。(詳細は次号)

日 時 昭和 58 年 7 月 8 日 (金) 午後 2 時～5 時
会 場 機械振興会館 地下 3 階 2 号室

予定発表論文 3 件

第 24 回 通常 総会 の お 知 ら せ

昭和 58 年度通常総会を下記によって開催いたします。今回は従来と異なり、開会を 15 時に繰り下げ、総会後の特別講演はありませんので、ご留意ください。なお、総会の案内状は、別途郵送いたしますので、ご欠席の場合には、必ず委任状をご返送ください。

記

日 時	昭和 58 年 5 月 20 日(金) 15:00~16:00
会 場	機械振興会館大ホール (地下 2 階)
総会次第	1. 会長あいさつ 2. 昭和 57 年度事業報告および決算報告 3. 昭和 58 年度事業計画および予算審議 4. 定款の変更 5. 昭和 57 年度論文賞の発表と表彰 6. 新役員を選定および新会長あいさつ 7. その他

なお、総会後ささやかな懇親パーティを行います。(16:10~)

久野 暉 博士講演会開催のお知らせ

久野博士はハーバード大学言語学科の教授として、最近の米国、ひいては世界の言語学会をリードしている第一級の言語学者であります。1960 年前後の米国での機械翻訳、計算言語学研究においてすぐれた業績をあげ、以後新しい言語理論を次々と発表されています。「日本文法研究」・「談話の文法」その他の著書も有名です。

このたび、日本アイ・ビー・エムの招待で来日される機会に、自然言語処理研究会(主査 長尾 真)のお世話で、下記によりご講演いただくことになりました。情報科学における自然言語の重要性がますます認識されて来ている折から、久野博士のご講演は大変意義深いものがあり、多数の方々のご参加をおすすめします。

記

日 時	昭和 58 年 6 月 2 日(木) 14 時~16 時
会 場	建築会館ホール (港区芝 5-26-20) Tel. 03 (456) 2051 国電田町駅下車 3 分、都営地下鉄三田駅下車 1 分、三田図書館裏
講 演 者	久野 暉 (ハーバード大学)
演 題	米国における計算言語学研究の動向
参加費	無料 定員 130 名

新年度にあたって（お願い）

——会費納入，新会員勧誘など——

新年度にあたって，会員の皆様につきの点につきご確認いただき，あわせてご協力のほどお願いいたします。

- (i) 58 年度会費の納入 2月号本欄参照のうえ，同号綴込みの振替用紙を利用して。
- (ii) 会誌送付先（宛先）変更 異動された方は，必ずはがきで早速にご連絡を。
- (iii) 学生会員から正会員へ 今春大卒（修士課程に進まれた方は除く）の学生会員は，正会員として上記(i)で手続を。
- (iv) 退会 書面（様式任意，はがき可）でお申出を。ただし，4月号以降受取った会誌は会費月割で精算いたします。
- (v) 新入会員の勧誘 年度始めは入会のチャンス。4月号綴込みの入会申込書に紹介者のサインをしてご勧誘を。

論文誌および欧文誌のご購読について

論文誌「情報処理学会論文誌」（隔月刊）および欧文誌“Journal of Information Processing”（略称 JIP・季刊）は下記のとおり，有料頒布となっております。57年から継続して購読されている会員は，58年度会費払込みと同時に納入ください。

年間購読料	会 員	非 会 員
論 文 誌	4,500 円	7,800 円
欧 文 誌	3,000 円	6,000 円（海外 7,000 円）

なお，新規購読希望者は3月号本欄添付の申込書で，お申込みください。

ISO グラフィックス・スタンダード（草案）

GKS Version 7.2 の頒布のお知らせ

3月号本欄でお知らせいたしました標記の ISO 草案は，品切れのため増刷いたしました。一応5月末日を申込み締切りといたしますので，早目にお申込みください。（6月以降は念のため事前にお問合せのうえ，お申込みください。）

○価 格 4,000 円（送料込）

○内容紹介・申込方法等は3月号本欄を参照ください。（郵便振替口座番号，取扱銀行，送金先は本号最終ページにあります。）

情報処理学会第 27 回全国大会論文募集要領

- 開催期日** 昭和 58 年 10 月 18 日(火)～20 日(木)
- 会場** 名古屋大学工学部 (名古屋市千種区不老町)
- 応募資格** 本学会個人会員 (正会員, 学生会員) に限ります. 共同発表の場合には, 登壇発表者は会員でなければなりません. なお, 58 年度会費未納の会員は, 登壇発表ができません. また, 登壇発表者の入会手続が未了の場合には申込を受けません. 入会申込書がご入用の方は返信用封筒 (60円切手貼付, あて名記入) 同封のうえお申出ください.
- 申込料** 不要です. ただし, 登壇発表される方は, 論文集原稿を提出する際に, 必ず参加費を納入してください.
- 申込方法** 添付の講演申込用紙 (1 件 1 枚) に必要事項を記入し, 宛先明記の原稿用紙送付用封筒 (大きさ A 4 判…21cm×30cm のもの. 切手は不要) を同封のうえ, 58 年 6 月 13 日 (月) までに (必着), 下記申込先へお送りください. 登壇発表は 1 人 3 件以内とし, 2 件以上の場合には同時にお申出ください. 申込締切後の変更は一切受付ません.
- 論文提出** 所定の原稿用紙を 7 月中旬に送付しますので, 昭和 58 年 8 月 15 日 (月) までに提出ください. 発表は日本語または英語で行うものとしますので, 論文は日本語または英語に限ります. ただし, 登壇発表者の入会手続が未了の場合には, 原稿用紙を送付しません. また, 発表申込および論文提出とも, 締切日が従来よりそれぞれ 10 日間ほど繰り上がったので, ご留意ください.
- その他** 詳細については, 決定次第本欄にてお知らせします.
- 申込先** 〒 105 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館内 308-3 号室
(社)情報処理学会 第 27 回全国大会係 電話 03(431)2808

論文該当分野

1. 基礎
 - a. 計算理論, b. アルゴリズム
 - c. プログラム理論, d. その他
2. アーキテクチャおよびハードウェア
 - a. システムアーキテクチャ, b. 演算装置
 - c. 記憶装置, d. 入出力装置, e. 端末装置
 - f. 性能評価, g. 信頼性, h. 保守技術
 - i. マイクロプログラミング
 - j. スーパーコンピュータ, k. その他
3. ソフトウェア
 - a. オペレーティングシステム, b. プログラミング言語, c. 言語処理, d. 性能評価
 - e. 信頼性, f. ソフトウェア工学
 - g. その他
4. データベース
 - a. データベースマシン, b. データマネジメント, c. 分散データベース
 - d. 性能評価, e. 情報検索, f. その他
5. コンピュータネットワークおよび分散処理
 - a. システム, b. アーキテクチャ
 - c. プロトコル, d. 性能評価, e. その他
6. パターン処理および人工知能
 - a. 文字認識, b. 画像処理, c. 自然言語理解, d. 音声, e. 人工知能・知識工学
 - f. ロボット, g. その他
7. 日本語処理
 - a. 文解析合成, b. 字づら処理・辞書
 - c. 入出力, d. その他
8. 数値計算
9. マイクロコンピュータ
10. オフィスシステム
11. 技術, 産業への応用
 - a. CAD, b. CAM, c. グラフィックス
 - d. シミュレーション, e. その他
12. 経営・社会システムへの応用
13. その他

「グラフィックスと CAD」シンポジウム論文募集

グラフィックスと CAD の研究開発は近年急速な進展を遂げ、情報処理技術における基礎と応用の重要な一分野となりつつあります。そこで、関連する方々の参加を広く募り、従来の成果を総括し、今後の課題を論議する場として、標記シンポジウムを開催します。グラフィックスと CAD の全般にわたり、従来の成果の展望から、先端技術を深く追求するものまで、十分な意見交換や議論の種となるような論文の応募をお願いします。

日 時 昭和 58 年 12 月 1 日(木), 2 日(金) 9:00~17:00

場 所 機械振興会館大ホール(地下2階)

トピックス (主要なテーマは以下のとおりですが、これらに限りません。)

- グラフィックスの基礎/表示技術, リアリズムの追求, グラフィック入力, データ構造とデータベース, マン・マシン・インタラクション
- グラフィックス・システム/グラフィックス言語とソフトウェア, グラフィックス・デバイスとワークステーション, システムのモデリング, ラスタ・グラフィックス, 標準化
- グラフィックスの応用/アニメーションとアート, ビジネス・グラフィックス, 文書や画像の処理, 応用事例
- CAD/設計方法論, 形状モデリング, 図面入力と処理, エンジニアリング・データベース, インテリジェント・CAD, システム構成法, 応用事例

実施方法 (3月号会告内容が多少変更になりましたので、ご注意ください。)

- (1) 完成された研究論文のみでなく、問題提起、アイデアの提案など、色々な性格の論文の応募を歓迎する。
- (2) 発表論文件数は 15 件程度とし、1 件当り発表時間は討論を含めて 30 分~1 時間程度* とする。
- (3) 論文概要(和文 A 4 判用紙 400~800 字程度)により、採択論文* を決定する。
- (4) 採択されたものは、本論文(情報処理学会大会予稿集用紙にて、4~8 枚。和文、英文可)を提出してください。
- (5) スケジュール
 - 論文概要締切 8 月 15 日(月)
 - 採択論文決定通知 9 月 15 日(木)
 - 本論文締切 11 月 1 日(火)

連絡先・論文提出先 〒113 文京区本郷 7-3-1 東京大学工学部精密機械工学科
木村 文彦 Tel. 03 (812) 2111 (内 6455)

参加申込み等については、決定次第本欄にてお知らせします。

* 論文応募状況により、発表論文や発表時間の調整を行う。これらについては実行委員会にご一任ください。

「自然言語処理技術」シンポジウム開催のお知らせ

標記シンポジウムに関して、多数の論文をご応募頂き誠に有難うございました。論文審査の結果、下記要領でシンポジウムを開催致しますので、多数の方々のご参加をお願いいたします。

日時 昭和 58 年 6 月 16 日(木), 17 日(金) 9:00~17:00
場所 機械振興会館大ホール (地下 2 階)
参加費 会員 10,000 円, 非会員 15,000 円, 学生会員 5,000 円
懇親会 昭和 58 年 6 月 16 日(木) 17:30~於 6 階 65 号室 (会費 2,000 円)
申込締切 昭和 58 年 5 月 31 日(火) (申込書は「情報処理」4 月号にあります)

~~~~プログラム~~~~

第 1 日 6 月 16 日(木)

- 総合司会 野村 浩郷 (武通研)
事業担当理事
開会の辞 (9:00~9:10) 長尾 真 (京大)
基調講演 (9:10~9:50) 「言語工学」の提唱 座長 溝口 文雄 (東理大)
Session 1. 文解析 (9:50~12:30)
・ 日本語音声出力のための言語処理
宮崎 正弘, 白井 諭, 大山 芳史, 後藤 滋樹, 池原 悟 (横通研)
・ 音声認識・理解システムにおける単語予測 重永 実, 杉野 憲作 (山梨大)
・ 日本語処理の観点から見たプッシュダウンオートマタの再評価
市山 俊治, 村木 一至 (日電)
・ Automated Generation of DCG Rules and BUP Rules
安部 憲広, 美馬 健児, 辻 三郎 (阪大)
・ 対話型プログラミングシステムにおける自然言語の理解
杉山 健司, 亀田 雅之, 秋山 幸司, 牧之内顕文 (富士通研)
・ 格文法による日本語の構文解析 日高 達, 吉田 将 (九大)
——昼食 (12:30~13:30)——
特別講演 (13:30~14:30) 日本語文法の問題点 井上 和子 (ICU)
——休憩 (14:30~14:50)——
Session 2. 機械翻訳 (14:50~17:30) 座長 坂本 義行 (電総研)
・ 英日機械翻訳における格構造変換と日本語の生成
西田富士夫, 高松 忍, 谷 忠明 (大阪府立大)
・ 概念構造からの自然言語文生成 内田 裕士, 西野 文人 (富士通研)
・ 日本語文の格文法を基礎とした意味表現からの英文生成
宮崎 敏彦, 安原 宏 (沖電気)
・ 概念表現からの埋め込み文を考慮した日本語文章の生成について
石崎 俊, 井佐原 均 (電総研)
・ 融合方式による日英機械翻訳 井佐原 均, 田中 穂積 (電総研)
・ 自然言語処理における中間語表現と多義性解消のしやすさとの関係
岡島 惇, 山野 文行, 平井 章博, 新田 義彦 (日立)

第 2 日 6 月 17 日(金)

- Session 3. テキスト分析 (9:00~12:20) 座長 辻井 潤一 (京大)
・ 制限言語の試み 長尾 真 (京大)
・ 専門分野のドキュメントからの情報抽出について
西田 豊明, 小坂 晃, 堂下 修司 (京大)

- ・英文のもつ複雑さの数量化 小松 智吉, 米田 政明, 吉田 順作 (富山大)
 - ・文法的誤りを含む英文の検出のシステムとその性能評価実験
河合 敦夫, 杉原 厚吉, 杉江 昇 (名大)
 - ・かな単語入力における誤入力訂正 栗田泰市郎, 相沢 輝昭 (NHK総研)
 - ・分かち書きの精度について 田中 康仁 (姫路短大), 吉田 将 (九大)
 - ・古典テキストデータの全文検索システム 星野 雅英, 田嶋 一夫 (国文学研究資料館)
- 昼食 (12:20~13:20)——
- パネル討論 (13:20~17:00) 機械翻訳の諸問題 司会 田中 穂積 (電総研)
- 天野 真家 (東芝), 内田 裕士 (富士通研), 辻井 潤一 (京大)
- 新田 義彦 (日立), 野村 浩郷 (武通研), 村木 一至 (日電)
- 吉田 将 (九大)

支 部 だ よ り

情報処理学会東北支部大会講演募集

——昭和 58 年度電気関係学会東北支部連合大会——

- 期 日** 昭和 58 年 8 月 26 日(金), 27 日(土)
26日(金)一般講演, 技術報告 午後・特別講演 27日(土)一般講演, 技術報告
26, 27日の両日, 展示会 (計測機器, 電子通信機器, 電力機器ほか)
- 会 場** 八戸工業大学 (八戸市大字妙字大開 88-1)
- 申込方法** 「講演申込書」は申出により「原稿用紙 1,600 字」「原稿の書き方」と共に渡す。
郵送希望の場合は 1 部 170 円 (2 部以上の場合は 1 部増すごとに 70 円増) の郵送料を添えること。
- 申込・原稿締切日** 7 月 5 日(火)必着厳守 (申込書と原稿を同時締切とする)
- 論 文 集** 論文集は大会当日受付にて配布する。
- 申込・問合せ先** 東北大学工学部電気系学科内 青野 Tel. 0222(22)1800 (内 4312)
- 懇 親 会** 8 月 26 日(金) 18:00~ 八戸グランドホテル 会費 3,000 円

支 部 だ よ り

九州支部「ソフトウェア工学講習会」開催のお知らせ

昨年9月に学習院大学で行われた第6回 ICSE の講習会は、600名近くの参加があり、大好評をえました。このたび九州支部会員の要望に応じて、標記の講習会を下記により開催することにいたしました。多数参加されますようおすすめいたします。なお、申込方法等については次号本欄でお知らせします。

期 日 昭和58年8月29日(月), 30日(火)

場 所 九州大学(福岡市)

参加費	一般(会員)	7,000円	} (講習会テキストを含む)
	一般(非会員)	10,000円	
	学生(会員)	2,000円	} (講習会テキストを含まず)
	学生(非会員)	4,000円	

定 員 150名

問合せ先 〒812 福岡市東区箱崎 6-10-1 九大中央計数施設内
情報処理学会九州支部 Tel. 092 (641) 1101 (内線 5986)

申込方法 次号本欄参照

~~~~~ プ ロ グ ラ ム ~~~~~

第1日 8月29日(月)

• あいさつ (9:00~9:10)

九州支部長

• ライフサイクルⅠ—構造から設計まで— (9:10~10:40)

野木 兼六 (日立システム研)

——休憩 (10:40~10:50)——

• ライフサイクルⅡ—製造から運用まで— (10:50~12:20)

鳥居 宏次 (電総研)

——昼食 (12:20~13:20)——

• 工具, 環境 (13:20~14:50)

田畑 孝一 (図書館情報大)

——休憩 (14:50~15:00)——

• 言 語 (15:00~16:30)

竹下 亨 (日本 IBM)

第2日 8月30日(火)

• 管理, 品質保証, 計量 (9:00~10:30)

寺本 雅則 (日本電気)

——休憩 (10:30~10:50)——

• 理 論 (10:50~12:20)

荒木啓二郎 (九大)

——昼食 (12:20~13:20)——

• ヒューマンファクター (13:20~14:50)

木村 泉 (東工大)

第14回画像工学コンファレンス論文募集

画像工学コンファレンスは1970年の発足以来、関連学会・研究会の共通の研究発表、討論の場として、日本の画像関係の研究開発の発展に大いに寄与して参りました。本年も新たな発展を期し、第14回画像工学コンファレンスを開催することに致しました。

奮ってご応募下さるようお願いいたします。

日 時 昭和58年12月8日(木)～9日(金)

場 所 農協ホール(東京・大手町・農協ビル9階)'83 国際画像機器展と併催

趣 旨 画像工学は光学、エレクトロニクス、写真・印刷などの広い分野の技術に支えられ、学術・産業・医療・民生にわたる分野の発展に貢献しております。本コンファレンスは技術交流を図ることにより、画像工学分野の研究開発をさらに活発にすることを目的とします。

構 成 招待講演と、応募による一般講演およびポスト講演により行います。

ポスト講演では、会場の決められた場所で図表、写真、実物等を示し、興味をもつ聴衆と自由に質疑、討論を交わしながら研究発表を行うことができます。

本年は招待講演による「世界コミュニケーション年」にちなんだ特別セッションを設けます。

募集論文の性格 論文として未発表のものに限ります。ただし口頭発表や研究速報などは差支えありません。

募集論文の内容 画像の入力・記録・蓄積・伝送・表示・コピー・処理などの基礎・知覚・材料・デバイス・システム・方式・応用・評価に関連する内容を募集対象とします。

応募資格 特に資格を問いません。

応募論文の審査 応募論文はプログラム委員会において、申込時提出の内容概要で審査いたします。また、プログラム編成上、一般講演とポスト講演との変更をお願いすることがあります。

講演形式・時間 一般講演：質疑応答を含め20分(予定)

ポスト講演：ポスト会場での発表討議120分(予定)

講演申込方法 A4横書の400字詰原稿用紙2枚以内(図表なども含め)の内容概要と、必要事項を記入した講演申込書(コピーでも可)を下記の送付先にお送り下さい。

申込締切 昭和58年7月4日(月)必着

論文集原稿 採択論文については一般、ポストとも、図・写真・表を含め7000字以内のタイプ原稿を提出していただきます。原稿やスライドの作成方法の詳細は8月上旬、論文採否通知とともに連絡します。

論文集原稿締切 昭和58年10月17日(月)必着

主 催 第14回画像工学コンファレンス実行委員会(担当 電子通信学会・画像工学研究専門委員会・パターン認識と学習研究専門委員会)

加盟学会・委員会 応用物理学会・光学懇話会、テレビジョン学会・画像表示研究委員会・視覚情報研究委員会、電気学会・電子デバイス技術委員会・光量子デバイス技術委員会、日本ME学会・医用画像のデジタル処理研究会、画像電子学会、日本写真学会、電子写真学会、日本写真測量学会、情報処理学会・コンピュータビジョン研究会・グラフィックスとCAD研究会、日本印刷学会、レーザー学会、電子通信学会・画像工学研究専門委員会・パターン認識と学習研究専門委員会。

送付先・問合せ先 〒105 東京都港区芝大門2-3-14 一松ビル1号館402号室

「第14回画像工学コンファレンス事務局」 ☎03-433-2544

第14回画像工学コンファレンス講演申込書

題 目		講演形式
氏 名		(希望する方に レ印をつけて下さい)
連絡先 (住所 所属 電話)	〒 ☎	<input type="checkbox"/> 一般講演 <input type="checkbox"/> ポスト講演 <input type="checkbox"/> どちらでも可